



番号	14	県別	広島	事業場所	廿日市市、宮島町
実施団体等	いつくしま・まちなみ研究会			代表者	森保 洋之
事業名	宮島の伝統的町家の外観デザインの特徴・多様性を今後の宮島の町家再生・町並み形成に活かすプロジェクト				
事業目的	宮島町家の伝統的な外観デザインの重要性を理解せずに修理等がされることを避けるために、外観デザインの類型化を行い、それを規範に町家再生・町並み形成・町づくり意識醸成などの展開につなげることを目的とし、宮島らしい個性と魅力ある町づくりを目指したい。				
事業概要	<p>①宮島町家 170 棟について外観デザインを対象に、腕木・方丈・持送り・出桁等と開口部の格子に絞り込み、「形状」、「彫刻の有無・内容」、「写真撮影」、「採寸」、「図化」、「目視特徴・印象の記録」などの実態調査を実施した。</p> <p>②考察の結果、伝統的な意匠から地域の歴史的な建築文化の高さが感じられた。社寺建築絵様のモチーフが多用され、宮島特有の雲形状の持ち送りが確認された。1 階の外観格子は明治期以降のつくりで外観上、重要なモチーフと言える。</p>				
事業効果	<p>①町家・町並みの特徴を理解し、その保全の大事さの確認ができた。</p> <p>②町家の保全・活用に対する意識・理解の増進と町づくり・活性化に寄与。</p> <p>③個々の町家の保存・保全と町並みの保全・形成につなげることができる。</p> <p>④観光力の発掘・推進の基礎資料化を図ることができる。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>町家計測風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップ</p> </div> </div>				